

**BACK TO THE
THEATER**
バック・トゥ・ザ・シアター

なぜこの年代を中心にしたかといいますと、仕事や家事、育児に忙しく、人生でもっとも映画館から離れているであろう30代・40代の皆さんが、最初の映画体験をされた時期だからです。時間に追われ、何かとストレスの多い世の中ですが、どうか2時間だけ浮世を忘れて、映画の原体験を思い出してみませんか。過去は変えられませんが、未来が少し明るくなるかもしれませんよ。

感を新たに噛み締めながら、同時にあの頃の自分に戻ったような不思議な感覚に陥りました。「あの時はこのシーンで皆が一斉に笑ったなあ」、「ここではヤジが飛んだっけ」なんて思い出しながら。

そんな訳で、BT TTには今の私たちが観るからこそ出会える"何か"があります。私は初めて観る映画では「新鮮な感動」と観たことのある映画では「あの頃の自分」に出会えました。あなたの"何か"にBT TTで遭遇して頂けたら幸いです。

TOHOシネマズ 日本橋ほか、全国公開!!

f <https://www.facebook.com/BackttTheater> **t** **@BTTT_movie**

映画で戻る、あの時間

BACK TO THE THEATER

バック・トゥ・ザ・シアターの楽しみ方

映画を通してあの時の自分に、そして新たな自分に逢いにいく。

映画をよくご覧になるあなたへ。新たなチョイスに、毎月1本、思い出の映画をスクリーンで。

滅多に映画を観ないあなたへ。この作品であなたの人生が少し変わる、かもしれません。

映画を観るだけでは物足りないあなたへ。映画を通してあの頃の自分に会いにいきませんか？

今だからこそ味わえる共感、今だからこそ振り返れるあの頃を、映画館で体験してください。もちろん、新たな思い出にも。

1989

『レインマン』、
『恋人たちの予感』公開

ゲームボーイ発売
マツダ・ロードスター発売
東京ドーム完成

1995

『レオン 完全版』公開
Windows95 発売

阪神・淡路大震災発生
『ハル友』が流行語に

1996

『ファーゴ』、
『トレインスポッティング』公開

アトランタ・オリンピック開催
ルーズソックス流行
たまごっち発売

1997

『ザ・エージェント』公開
アクアライン開通

ハイパーヨーヨー流行
『失楽園』放映

1998

『グッド・ウィル・ハンティング/旅立ち』公開
冬季長野オリンピック開催

『キレる』が流行語に
映画『タイタニック』ブームに

1999

『ライフ・イズ・ビューティフル』公開
『カリスマ』、『2000年問題』が流行語に

犬型ロボット『アイボ』発売
『ワービー人形』発売

2014
今のあなた



6/13
より公開

『レインマン』

1989年公開

本作の公開当時、イケイケ二枚目青春スター街道を爆走中だったトム・クルーズ。彼が突如、演技派への路線変更を図り世間を驚かせた野心作にして、男闘士の兄弟愛をプロマンス映画風に味付けたロード・ムービーの名作。もちろん、自閉症の兄役ダスティン・ホフマンの映画史に残る入魂演技も絶品だが、大先輩とタイムマン強っても一歩も引けを取らない、若き日のトム君の前のめりな大熱演こそが本作最大の見どころ。でも、人生とは悲しいかなアカデミー賞作品・監督・主演男優賞など主要4部門を独占した本作で、トムはノミネートすらされなかった。未だに無冠のスターである。

原題:Rain Man / 製作国:アメリカ / 製作:1988年 / 日本公開:1989年 / 上映時間:134分 / 監督:バリー・レヴィンソン / 脚本:バリー・モロー (原作)、ロナルド・バス / キャスト:ダスティン・ホフマン、トム・クルーズ



9/19
より公開

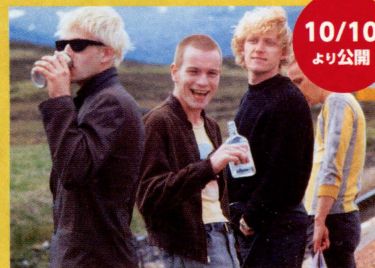
『恋人たちの予感』

1989年公開

「男女に友情は成立するのか？」そんな人類史上究極の命題に挑んだロマンティック・コメディ。『恋人までの距離』などの友達以上恋人未満、どっちつかず系男女の恋愛モノのハシリにして金字塔。主演コンビは、ラブコメの女王メグ・ライアンと、俳優よりもオスカー授賞式の名物司会者として有名なビリー・クリスタル。

本作が恋愛映画の名作と語り継がれる所以は、主演コンビが絶品のコメディ・センスを持っているから。全編にわたって2人が奏でる心地よい音楽的な言葉のダンスは、今観てもまったく色褪せることはない。2人に甘いロマンスが芽生えるかは……ご自身の目で確かめあれ！

原題:When Harry met Sally... / 製作国:アメリカ / 製作:1989年 / 日本公開:1989年 / 上映時間:96分 / 監督:ロバート・ライナー / 脚本:ノラ・エフロン / キャスト:ビリー・クリスタル、メグ・ライアン



10/10
より公開

『トレインスポッティング』

1996年公開

ドラッグ、音楽とともに疾走する若者たちそれぞれの運命を描く。平凡な生活や将来に反抗するため、がむしらに生きる若者の姿がほとばしると同時に、退廃的な現実が迫る。同じような毎日を打破したい人にオススメ、ユアン・マクレガーのフレッシュな演技とオールドなUKファッションにもご注目。Underworldの「Born Slippy Nuxx」、New Orderの「Temptation」をはじめ疾走感のある名曲がイギリスの街と若者たちを彩る。「スラムドッグ\$ミリオネア」などアカデミー受賞監督ダニー・ボイルが描く青春群像劇の金字塔。

原題:Trainspotting / 製作国:イギリス / 製作:1996年 / 日本公開:1997年 / 上映時間:94分 / 監督:ダニー・ボイル / 脚本:ジョン・ホッジ / キャスト:ユアン・マクレガー、ロバート・カーライル、ケリー・マクドナルド、ユエーン・ブレムナー



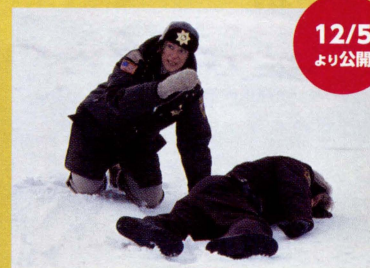
11/7
より公開

『ライフ・イズ・ビューティフル』

1999年公開

“ドララの 下に涙の喜劇人”本作には、そんなサブタイトルがお似合いだ。第二次世界大戦下、ホロコーストに収容されたユダヤ人ロベルト・ベニーニが、自身の幼い息子を救うため驚くべき作戦に打って出る！
本作のキモは、喜劇人ベニーニが得意の身体性を活かし、スラップスティックなギャグを連打する前半部分にこそある。観客をこれでもかとめいばい笑わせてくれるからこそ、後半の泣きの演出が最大級の効果を発揮する。極めて日本人好きな“昭和の人情喜劇”の物語構造を持つ社会派コメディの傑作。

原題:La vita e bella 英題:Life Is Beautiful / 製作国:イタリア / 製作:1997年 / 日本公開:1999年 / 上映時間:117分 / 監督:ロベルト・ベニーニ / 脚本:ヴィンチェンツォ・チェラミ、ロベルト・ベニーニ / キャスト:ロベルト・ベニーニ、ニコレッタ・プラスキ、ジョルジオ・カンタリーニ



12/5
より公開

『ファーゴ』

1996年公開

映画の冒険に出てくるが、最初にお伝えしたいのは「この映画が実話」であること。妻を誘拐させてお金を得たい男、妊娠中の警察署長、口うるさい無口な誘拐犯コンビ、個性的な面々がそれぞれの思惑で動いた結果、ドミノ倒しのように事態は悪化し続け、もはや収束不可な状況に。「嘘じゃないかと思う展開」で、ここまでくると悲劇も笑える。警官役のフランシス・マクドーマンはアカデミー賞主演女優賞を受賞。しかし、ここまで観客に挑戦的な映画も類をみない。監督・脚本を務めるコーエン兄弟の皮肉がたっぷり詰まっていることをお忘れなきよう。

原題:Fargo / 製作国:アメリカ / 製作:1996年 / 日本公開:1996年 / 上映時間:98分 / 監督:ジョエル・コーエン / 脚本:ジョエル・コーエン、イーサン・コーエン / キャスト:フランシス・マクドーマン、ウィリアム・H・メイシー、スティーヴ・ブシェミ



バック・トゥ・ザ・シアターの軌跡

Vol.1『ブルース・ブラザース』
2012年6月20,21日の2日間

Vol.2『バック・トゥ・ザ・フューチャー』
2012年9月21~23日

Vol.3『バック・トゥ・ザ・フューチャー PART2』
2013年5月24~30日

Vol.4『バック・トゥ・ザ・フューチャー PART3』
2013年9月20~26日

Vol.5『ターミネーター』
2014年1月10~16日

Vol.5『スタンドバイミー』
2014年2月7~13日

text: 岩田和明 (映画秘宝編集長) 『グッド・ウィル・ハンティング』、『レオン 完全版』、『レインマン』、『恋人たちの予感』、『ライフ・イズ・ビューティフル』 / 奥村裕樹 (宣伝会社スクリップ) 『ザ・エージェント』、『トレインスポッティング』、『ファーゴ』